

そこで兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、手紙によって、教えられた言い伝えを守りなさい。 Ⅱテモテ2:15

2015(27)年 週 報

10月18日
第3聖日
第3426号

「福音に仕える奉仕者」

聖言

こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。エペソ 4 : 11

礼拝の恵み 第二二章 第九節 礼拝の場所

第一節 霊的に礼拝は聖所の中にある。クリスチャンは、その大祭司のいる場所で礼拝する。そこは、天、あるいは至聖所である。この事はヘブル書の中でわれわれに提示されている。この手紙の中で著者は「天にあるもののひな型(九ノ二一三)として幕屋の例を用いている。イスラエルの大祭司であるアロンが年に一回、自分のために、イスラエルの民の罪のためにささげた罪祭の血を携えて、至聖所にはいったことを述べている(九ノ一〇一)。

それから進んで著者は、祭司アロンのわざを、大祭司キリストのわざと対比している。彼は言う。「しかしキリストは、すでに成就したすばらしい事柄の大祭司として来られ、手で造った物ではない、言い替えれば、この造られた物とは違った、さらに偉大な、さらに完全な幕屋を通り、また、やぎと子牛との血によってではなく、ご自分の血によって、ただ一度、まことの聖所にはいり、永遠の贖いを成し遂げられたのです。」(ヘブル九ノ一一、一二)。

幕屋の中の聖所が、天と地の御前とのひな型であったように。キリストはその身代わりの犠牲と、その宝血の永遠的価値によって、御自分のあがないたもうた民の大祭司として天にはいられた。

(礼拝 ギブス著)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一五年一〇月一日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「低い所に下られる」

「この『上られた』ということばは、彼がまず地の低い所に下られたということではなくて何でしょう。」(エペソ四ノ九)

祈り

朝の風の冷たさを感じるようになりました。互いに愛することの出来ない世界に変わり果てました。何十年も一緒にいる連れ合いと一瞬でもいる時間が長くなるのが苦痛になっています。権力の意に沿わなかったら、1500キロ博多から青森の距離のところからミサイルを飛ばして人を殺すのです。監視カメラはいいのですけど、私たちの行動はいつも監視されているのです。このような時代に高い所に上られ、聖霊を注いでくださり、低い所に下られ、罪の赦しの血潮を流されたあなたに感謝します。

イエス様は地の一番低い所に下られて彼の罪をも身に受けてくださったのです。この世では犯した罪の制裁を受けますが、本当に自分の罪を認め、悔いて、イエス様をうけいれるなら、天の御国に入れられるのです。天に上られたお方は地に下られお方です。このお方に知れない悲しみと悲惨はありません。原発の汚染のなかにもおられ、難民のなかにも、ミサイルの打ち込まれる中にもおられるのです。ゆえに、このお方の知れない苦しみと悲惨はありません。昨日も母親と子ども二人が一日ラーメン一個で暮らしていることが報道されていました。幼児虐待がなくなりません。また、広島のパールで従業員と客が焼け死にました。悲惨が世を覆っています。どこに、日本はいこうとしているのでしょうか。しかし、主は低い所に下られました。(詩篇二三九ノ九)「私が暁の翼をかって、海の果て

に住んでも、そこでも、あなたの御手が私を導き、あなたの右の手が私を捕らえます。たとい私が「おお、やみよ。私をおおえ。私の回りの光よ。夜よなれ。」と言っても、あなたにとっては、やみも暗くなく、夜は光のように明るいです。暗闇も光も同じことです。」
二〇一五年一〇月一四日午後七時 祈祷会 山本牧師

「忠実な祭司」

「しかし、イスラエルが迷ってわたしから離れたときもわたしの聖所の任務を果たした、ツアドクの子孫のレビ人の祭司たちは、わたしに近づいてわたしに仕え、わたしに脂肪と血とをささげてわたしに仕えることができる。神である主の御告げ。」

⑩彼らは私の聖所にはいり、わたしの机に近づいてわたしに仕え、わたしの任務を果たすことができる。」(エゼキエル四四ノ一五、一六)

三、一五、一六 忠実だったツアドクの子孫が祭司を務めること

四、一七、三一 祭司についての種類の規定

肉体と心に割礼を受けていない外国人は聖所に入れないといわれたのは、レビ人しかできない聖所での神にささげる動物の処理を異邦人にさせていたからです。すなわち、聖なる儀式を神を信じていない者にさせないためです。汚れた者は一人として聖い神にちかづくことはできないし、心に割礼を受けていない者は一人として救われない。私たちが聖い神に受け入れられるのは、ただイエス・キリストがその尊い服従と身代わりの死によって得てくださった義の故である。イエス・キリストの義から一步でも離れるならば、神の聖所から締め出される者であることを忘れてはなりません。イスラエルの民の偶像礼拝に同調した不忠実なレビ人は、祭司職をやめさせられたが、逆にイスラエルの民が偶像礼拝に陥った時に、一貫とし

て主に忠実であったツアドクの子孫は今まで通り祭司とされました。彼らは、聖所の任務につき、主に近づいて主に仕えるという特権を与えられました。多くの人が主から離れ鎖って行く時に、自分だけ忠実を貫くと言うのは、つらいことです。孤独や誘惑と戦わねばなりません。しかし、主は、一貫して御自分に忠実な者を、御自分のもとに引き寄せてつかえさせます。

秋の平和コンサート終わる

昨年は台風で中止したコンサート二年ぶりに再開されたことは喜ばしいことでした。なにしろ、七十年近くも続けられている行進を行われたことです。今年も台風は直撃しませんが、ゆかりゴスペルの家族五人。七歳の力都君、六歳の年長組の希咲ちゃん、三歳の歩喜君が英語のゴスペルはの賛美台風が直撃したようでした。高齢化の教会の将来のヒントをもらう集会でした。今までは賛美が主体であった集会が御言葉を聞く、前菜のような位置にできたことは進歩したことでした。今後、教会の未来をどのようにしようとするのか。それは第一は神様が計画されています。すなわち、満ち満ちた神様が教会が満ち溢れることです。それは、私たち各自が聖霊の聖潔を体験し、御霊で一致した群れを社会に証することを通して、神様はご自身の計画を現わそうとしています。前置きはながくなりましたが、ゴスペルを教会員が練習してクリスマスや路傍伝道で賛美伝道をします。まず、ゴスペルの素晴らしさを味わい、ママさんゴスペルを教会で行い、教会の活性化を図るのです。地域を変えるには、まず、自分を変えられなければなりません。

教会創立六七周年記念会

日時 十一月三日（月） 祝日

午前一〇時 記念会 説教 足達和章牧師
午後 一時 牧師会

今年のクリスマス計画

日時 十二月二〇日（日）

午前二時 クリスマス賛美礼拝
午後 一時 クリスマスコンサート

賛美 水野夏子姉
話 山本稔牧師

大日丘クリスマス

日時 十二月三日（水） または二五日（金）

今後の祈禱会の話

エゼキエル書の学びが終わったなら、次回は、死後の世界、臨死、キリスト教死生観について学びます。興味のある方は参加ください。

日時 水曜日 午後七時～午後八時